

第3次菊川市地球温暖化対策 実行計画（事務事業編）

概要版



© 菊川市

2018(平成30)年3月

菊川市

1 菊川市地球温暖化対策実行計画について

1-1 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）とは？

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条の規定により、地方公共団体では、自らの事務事業に伴って排出される温室効果ガスの削減に関する計画を策定することが定められています。

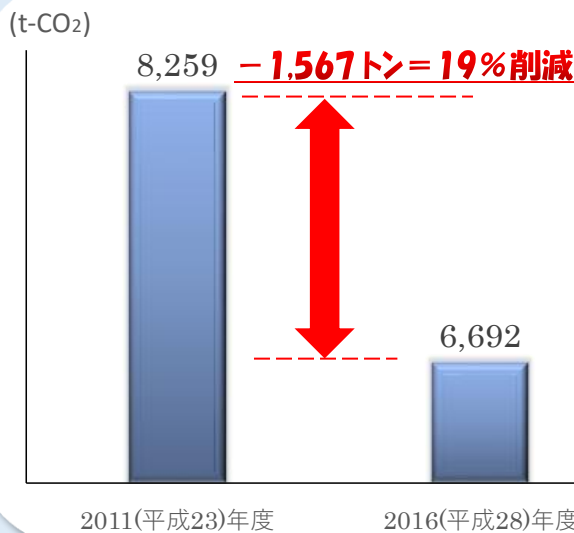
1-2 第2次実行計画（前回計画）の達成状況

菊川市では2013（平成25）年に、「第2次菊川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定しました。計画の中で設定した目標の達成状況は次のとおりです。

第2次実行計画

【計画期間】2013（平成25）年度～2017（平成29）年度

【目標】2011（平成23）年度比で5%削減



19%のCO₂を削減することができました。
病院でのESCO事業の導入が削減に大きく寄与しています。



© 菊川市

2 第3次菊川市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)について

2-1 計画の基本的事項

◇計画の目的

菊川市の事務事業に伴い排出される温室効果ガスの削減を図るため、本計画で目標や取組を定めます。

◇計画期間

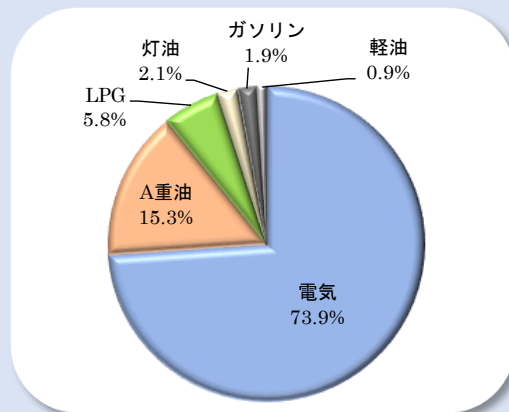
計画期間
2018(平成30)年度～
2030(平成42)年度

◇対象範囲

菊川市で実施する全ての事務事業を対象とします。

◇排出元別の温室効果ガス排出状況(2016(平成28)年度)

電気とA重油使用に伴う排出量が全体の9割近くを占めています。



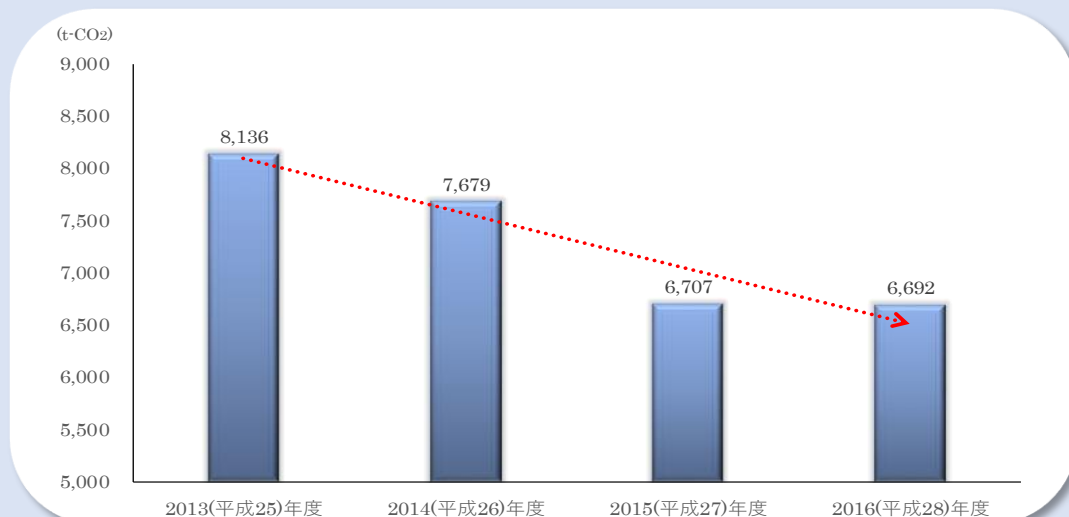
◇対象ガス

本市の全ての事務事業から排出される温室効果ガス総排出量(2016(平成28)年度)の96.2%が二酸化炭素のため、計画の対象とする温室効果ガスを二酸化炭素とします。

計画の対象とする温室効果ガス
二酸化炭素(CO₂)

◇年度別の温室効果ガス排出状況

本市の事務事業により排出される温室効果ガスは、2013(平成25)年度以降、排出量が年々減少の傾向にあります。2015(平成27)年度の排出削減の大きな要因としては、同年度の菊川市立総合病院でのESCO事業導入等が挙げられます。

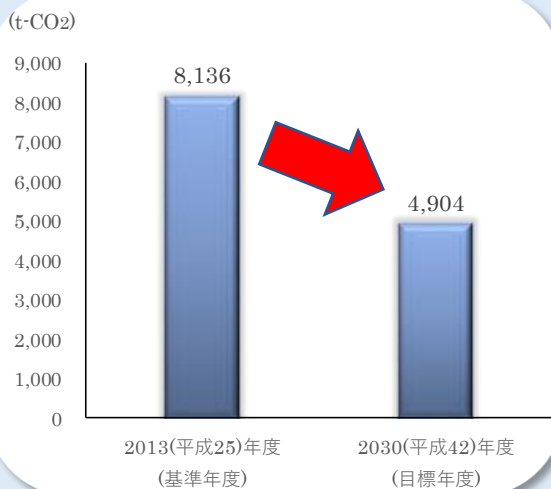


2-2 削減目標

温室効果ガス排出削減に向け、以下の削減目標を設定しました。

長期目標（2030（平成42）年度）

2030（平成42）年度に2013（平成25）年度比 **40%** 削減
8,136 t-CO₂ → **4,904** t-CO₂



長期目標として、**2030（平成42）年度に2013（平成25）年度比で40%削減**を目標とします。
（※ 本目標値は、地球温暖化対策計画に記載されている国の削減目標に沿って設定しています。）

中間目標（市独自の取組）

2022（平成34）年度に2016（平成28）年度比 **5%** 削減
6,692 t-CO₂ → **6,357** t-CO₂



5年後の計画見直し時における中間目標として、温室効果ガスの排出量を **2022（平成34）年度に2016(平成28)年度比で5%削減**を目標とします。（年平均1%以上削減）

3 排出削減に向けた取組内容

温室効果ガスの削減のためには、ソフト面とハード面の両分野において、様々な取組内容が考えられます。その一例として以下の取組を紹介します。

➡ エコアクション21の拡大

環境マネジメントシステムである「エコアクション21」の導入・拡大によってソフト面での省エネ対策を推進します。

➡ 省エネ診断と運用改善

省エネ診断の実施によって、設備の運用改善や高効率設備導入等の検討を行います。温室効果ガス排出量が特に多い施設については、ESCO 事業^{*1} や BEMS^{*2} の導入も検討します。

➡ 公用車の利用に伴う燃料使用量削減

公用車から排出される温室効果ガス削減のため、職員一人一人がエコドライブを心掛けます。やさしい発進を心掛けると、10%程度の燃費改善が見込めます。また、車両の更新時にはハイブリッド車等のエコカー導入を検討します。

➡ 再生可能エネルギーの導入

庁舎等施設に太陽光発電パネルを設置するなど、再生可能エネルギーの導入を検討します。



➡ 建築物の省エネ化（ZEB化）の推進

施設の新築時や、既存建築物の設備改修時には、補助金等を活用し建物の ZEB^{※3} 化を検討します。

➡ 設備更新時の高効率機器の導入

補助金等を活用し、施設の省エネ改修を図ります。省エネ改修には以下の項目が挙げられます。

- ① LED 照明の導入
新築施設や既存の施設の照明器具を順次 LED 照明に改修します。
- ② 高効率空調の導入
よりエネルギー効率の優れた（ヒートポンプ式等）高効率空調への転換・導入を進めます。
- ③ 燃料転換の検討
燃料として使用している重油をガス等に転換することで、温室効果ガスの排出削減を図ります。



© 菊川市

菊川市では 2018（平成 30）年度以降も市役所本庁舎・小中学校施設の LED 化を進めていく予定です。

※1 ESCO 事業

＝「Energy Service Company」の意。契約を結んだ ESCO 事業者が、顧客のエネルギー使用状況の分析から省エネ設備の導入、保守管理まで全ての投資を負担し、また、それによる省エネルギー効果を事業者が保証する事業。省エネルギー改修に必要な経費は全て削減された光熱水費から支払われるため、顧客による新たな費用負担を必要としないことが特徴。

※2 BEMS

＝「Building Energy Management System」の意。ビルの機器・設備等によって使用するエネルギーを計測し、「見える化」を行うことで、より適正な運転管理を促し、エネルギー消費量の削減を図るシステム。

※3 ZEB

＝「net Zero Energy Building」の意。建物の断熱性能向上や、照明・空調等の設備の高効率化を図ることで、建物で使用されるエネルギー消費量を削減するとともに、太陽光等の再生可能エネルギーによってエネルギーを自給自足することで、建物全体での実質的なエネルギー消費量をゼロにすること。

4 計画の推進と点検・評価体制

4-1 計画の進捗管理

計画の推進と取組結果の確認には、市長をトップとする実施体制により、全庁でのPDCAサイクルを基本とした点検・管理を行います。

➡ Plan ～自主的に環境への取組方針と目標を定める～

- ◆ 短期的には、省エネルギー推進本部会議で年間目標を定め、長期的には、各施設の改修計画に併せて太陽光発電・LED照明等の導入を進めていきます。
- ◆ 目標は数値目標とし、組織や施設間で比較できるようにします。

➡ Do ～目標達成のための組織体制を整備し必要な取組を行う～

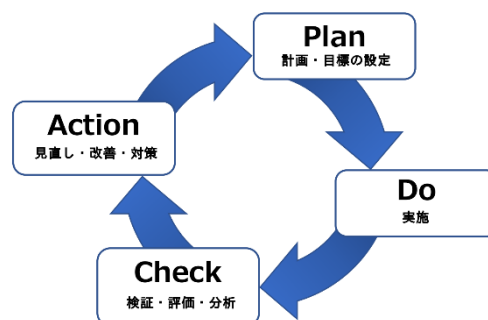
- ◆ 環境推進課が事務局を担当し、目標設定や取組等への助言を行います。

➡ Check ～目標達成のための状況把握・評価～

- ◆ 達成できた原因とできなかった原因を分析します。分析結果については、情報共有と公表を行います。

➡ Action ～改善と定期的な見直し～

- ◆ Doにあたる取組・施策の見直しを行い、Planに反映することで、よりよい取組となるよう見直しを行います。



4-2 公表

取組の分析結果については、年に1回、市ホームページや市広報、環境だより、環境活動レポートを通じて公表を行います。

第3次菊川市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編) 概要版



© 菊川市

発 行

2018(平成30)年3月

菊川市 生活環境部 環境推進課

〒439-8650 静岡県菊川市堀之内 61 番地

TEL 0537-35-0916 FAX 0537-35-0981

<http://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/>